

足立史談会だより

足立区立郷土博物館
足立史談会事務局
TEL 03-3620-9393
FAX 03-5697-6562
金曜日 10:00-12:00

【第429号】
令和7年12月15日

区民教養講座 千住宿400年の歴史

千住宿400年の歴史を拝聴して

史談会会長 相川謹之助

11月23日(日)、足立区立郷土博物館において区民教養講座が足立区立郷土博物館と足立史談会共催で講師に博物館学芸員多田文夫氏をお招きして千住宿400年の歴史をわかりやすく語って戴きました。博物館でも来年1月11日(土)まで千住宿400年を記念して千住宿400年の歴史文化遺産調査特別展が開催中です。是非、ご覧戴けることをお勧めいたします。

千住は「千住品川紫の袂なり」「大橋を渡れば千住江戸のうち」など詠まれています。千住は徳川家康が江戸入府すぐ、千住大橋を架橋して265年間徳川慶喜が千住大橋を渡り水戸に隠棲するまで千住とは縁があります。千住は日光道中初宿に指定されましたが、講演の中で千住宿は江戸四宿の中で江戸に一番近い立地条件があり物流基地の性格を持っていたので農工商人も経済が豊かで江戸朱引内より文化が育んでいったと思います。



私の感想を申し上げます。

一つ目は、千住の勝専寺御前立ち千手観世音のお話を聞き、千住の地名は、千手観世音の伝承によるのがふさわしいと思いました。近日、千住開宿400年の節目にあたり、勝専寺さんでは境内に石仏「千手観世音」を安置され開眼法要後に皆様に披露させていただく予定があるとも伺っています。決まりましたら史談会だよりでお知らせいたします。

二つ目は、「武士身分を持つ千住宿の人々」のことで百姓身分と時により武士身分に使い分けることもあったことです。歴史は深掘りが大切だと思います。千住にも調べるのがたくさんあると思います。将来の人々の研究を期待します。

三つ目は、博物館の風水害、地震対策の話です。足立区は軟弱地盤で大小河川が多く、決壊等で水害対策、地震対策が喫緊の課題です。収蔵庫に保管される重要物品も近年増えていると思います。区民の皆様からご寄贈いただいた文化財を守るために予算を増やし対策を強固にさせていただけることをお願いします。講演会に参加された方より私宛に早速メールが届きました。「昨日、博物館で開催された多田学芸員の千住開宿400年の記念講演に行きました。多田さんのいつもながらの歯切れの良いわかりやすい解説で千住宿の歴史をあらためて聞くことができよかったです。千手観音のお前立ちを見たことでしたし、四丁目氷川神社の静御前の山車も勇壮です。未だ行かれていない方はぜひ来館ください。」とのこと。メールありがとうございます。

参加者60名の方々のなかから講演終了後多数の質問、応答があり実のある講演会を終了できたことをあらためてお礼申し上げます。

